

■ 第28回人権啓発詩・読書感想文入選作品表彰式が開催されました

お互いの人権を尊重し、差別のない明るい社会を築くためには、一人ひとりが人権問題を自らの課題として取り組んでいくことが大切です。

そのため、毎年、府内の小中学(部)生を対象に「人権啓発詩・読書感想文」を募集し、その優秀作品を表彰することを通じて人権の大切さについての啓発を進めています。

今年度は、937点(詩部門546点、読書感想文部門391点)の応募があり、その中から26点の入選作品が選ばれて表彰されました。

当日は、司会進行に俳優の伊藤えん魔さん、ゲストに元OSK日本歌劇団の貴城優希さんを迎え、入選作品の朗読やこころ温まるステージが表彰式に花を添えました。



- 日 時** 2010年2月21日(日)14:00～16:15
- 会 場** 大阪府立中央図書館ライティホール
- 入 選 作 品** 26点(詩部門 12点、読書感想文部門 14点)
- 主 催** 大阪府・大阪府教育委員会
人権啓発推進大阪協議会(愛ネット大阪)

■ 大阪府草の根人権活動賞受賞者が決定しました

すべての人の人権が尊重される豊かな社会を実現するため、それぞれの地域で多くの方が、人権に関する活動に取り組んでいます。

大阪府では、人権教育・啓発や人権擁護の分野において、(1)自らの意思で、(2)営利を目的とせず、(3)不特定多数の市民のために、(4)地域に根ざして、活動を行っている方々を表彰し、人権尊重社会に向けての取組みを広げていくよう「大阪府草の根人権活動賞」を設置しています。

この賞には、地域における人権教育・啓発活動や人権擁護の分野で特色ある活動を行ない、今後の活動が期待される方や団体に贈られる「奨励賞」と、これらの分野で長年にわたり地道な活動を続けてこられた方や団体に贈られる「功労賞」があります。

平成21年度大阪府草の根人権活動賞表彰式
ひとつながるまちづくり交流のつどい



2009年度(平成21年度)の受賞者の活動内容

大阪府草の根人権活動奨励賞

金 桂仙(キム ケソン)さん	若年認知症支援の会 愛都(アート)の会
大阪で生まれた在日コリアン2世の音楽家・金桂仙さんは、幼少の頃に差別を感じていましたが、在日こそ日本と朝鮮半島の人々をつなぐことができると感じ、その気持ちを歌に託して、朝鮮半島・日本の歌や人権をテーマとした講演会、市民コンサート、映画祭等に多数出演しているほか、韓国残留日本人妻の慰問公演もされました。	大阪府内を中心に、若年認知症の人の居場所づくりと交流、その家族の方への情報交換の場の提供、社会参加の促進および心豊かな生活の維持の共有を目的として、医療・福祉専門職とボランティアが、本人・家族交流会、専門職による講演会、サポーター養成研修、電話・メール等での相談、会報の発行等の活動をされています。
放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」	「みんなの手話ダンス」大阪手話ダンスグループ
枚方市を中心に、さまざまな難しさを抱える子どもとその保護者がいきいきと暮らせるよう、親子で参加できるイベントを自主企画し、みんなで楽しめる居場所づくりを提案しているほか、元小中学校教員を招いての交流会、障がい児の放課後保障や中学校卒業後の進路を考える会など、当事者自身が積極的に活動に取組まれています。	吹田市・堺市を中心に、障がいのある人と健常者が、リズムをステップで歌詞を手話で表現した手話ダンスをとおして、共に楽しみ、お互いに理解を深め、社会参加できるように、高齢者施設、障がい者作業所、学校園や地域でのイベント等への訪問活動や、聴覚障がい者講師による講演・講習・体験等の活動をされています。

大阪府草の根人権活動功労賞

吉岡 数子さん	自身が戦後に体験した教科書の墨塗りや教科書が果たした戦争遂行の役割を伝えるため、堺市に平和人権子どもセンター・教科書資料館(現教科書総合研究所)を設立し、教科書を中心に平和・人権・子どもに関する資料を総合的に開架展示している他、調査研究、教材づくり、来館講話、出前展示、出前講話などの活動を続けられています。
---------	--